

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	兵庫県	シカ、イノシシ、中型獣類	◎	○	○	○

現状・課題

森林動物研究センターの研究成果や現場指導から得られた知見やデータに基づく被害対策を推進してきた結果、平成22年度以降農林業被害額は減少傾向で推移してきたが、直近では4.5億円前後と減少が鈍化している。
 その背景には、集落や生産者組織で高齢化や離農が進み、これまで獣害対策にかけていた労働力の確保が困難になっていることが挙げられる。

事業概要

- ・加害獣種の同定や捕獲場所の選定に通信機能付きセンサーカメラを活用し、撮影データを解析することで、侵入経路を明らかにし防護柵を点検するほか、捕獲檻の餌付け状況を確認・改善し効率的な捕獲活動を実施
- ・併せてSDカードの交換労力削減も実証
- ・県のGISによる被害状況やSNSを活用した点検状況の可視化・住民への共有

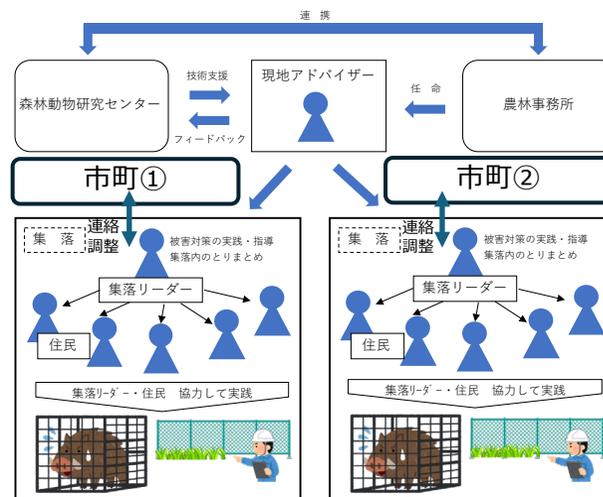
活用機器 ※交付金活用外の機器を含む

- ・センサーカメラ
- ・捕獲通知機器
- ・GIS
- ・ファイル共有システム

モデル地区の普及範囲

- ・県内外

【対策の実践支援スキーム】



【取組内容】



GISの活用例



捕獲指導の状況

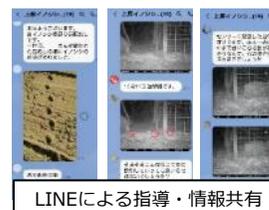


集落による防護柵管理

【スマート技術活用例】



カメラの設置



LINEによる指導・情報共有